

令和5年度 読書活動普及啓発事業
「読書活動」×「体験活動」事業 正月・昔の遊び編
ホンキで楽しんじゃお！昔の遊び

1 ねらい

親子での読書や体験活動を通して、読書の楽しさを体感してもらい、読書への意欲の向上を図る。また、保護者に対し、読書や体験活動等の重要性を啓発するとともに、活動の様子や成果を発信することで、幅広く普及・啓発を図る。

2 実施日

令和6年1月28日（日）10：00～15：00

3 日 程

時間	内容
9:30	受付開始
10:00～10:15	開会式
10:15～11:00	絵本専門士による読み聞かせ
11:15～12:00	【児童】昔の遊び体験 【保護者】交流会
12:00～13:00	昼食(バイキング)、休憩
13:00～13:45	親子でクラフト「凧作り」、凧揚げ
14:00～14:45	昔の遊びにまつわる本の読書と紹介タイム
14:45～15:00	閉会式



4 活動場所

国立大洲青少年交流の家

5 参加対象・募集人数

年長児から小学2年生児童とその家族・20家族（50名程度）

6 参加人数

12家族（32名）

7 活動内容

お正月と昔遊びをテーマに、午前中は、絵本専門士による読み聞かせやペープサート、紙芝居やテーマにちなんだ体験活動などを行った。その後、子供と保護者の一部は昔遊びを体験したり、保護者のうち希望者は絵本専門士との交流会を行ったりした。昔遊び体験では、全員で巨大カルタとりをした後、こま回し・お手玉・竹とんぼ・福笑い・けん玉・カルタとりを自由に体験した。午後は、簡単に作れる凧作りをして親子で凧揚げを楽しんだ。最後に、正月や昔の遊びにまつわる本を選んで親子で読み、お勧めの本の紹介カードを作成してその紹介の時間を設けた。

活動の導入に読み聞かせを行ったことで、低年齢の参加者も、見通しをもって活動に取り組むことができた。また、昔遊びやクラフトなどの体験活動を組み合わせることで、動と静のバランスのとれた活動となった。



8 参加者の声

事業後アンケート結果

*満足：91.7% *やや満足：8.3% *やや不満：0.0% *不満：0.0%

- 落ち着いて本と向き合うことができた。親子ですてきな時間を過ごせた。
- なかなか体験できない昔の遊びに触れさせることができた。
- プログラム構成・流れ、ともに良かった。スタッフのやさしい声かけがうれしかった。
- 親子で楽しい一日を過ごせた。来年度もぜひ実施してほしい。

9 事業の成果と課題

12月のクリスマス編と同様の低年齢児を対象とした事業で、テーマを変えた以外は同様の活動内容と流れで実施した。読み聞かせから個々の活動へと広げていく構成が効果的で、参加者の読書への意欲の向上につながった。また、保護者の交流会では、絵本専門士から子供への読書の関わり方についてアドバイスをもらい、今後に活かすことができた。さらに、本の紹介タイムでは、親子で読んだ絵本を紹介カードに記入し、事業後も掲示することで、参加者以外にも読書活動への普及啓発を図ることができた。余裕のある時間配分だったので、低年齢の参加者も読み聞かせや読書、昔の遊び体験を通して家族とゆっくり時間を楽しめた。

前回の反省点を生かして寒さ対策の事前周知ができた。また、各プログラムを45分間に統一したことで、小さな子供でも最後まで集中力が持続した。参加数については、前回とほぼ同数で応募数を満たさなかった（50名に対してキャンセル後32名）ため、広報のエリアや手段に課題が残った。しかし、会場（ミュージックルーム）のキャパシティには丁度であり、参加者同士の交流をするにも適した参加数であった。2年間の取組を今後の教育事業に生かしていきたい。

（担当：企画指導専門職付係員 小池 源規）

